



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 39

2017.5.17 (No.2912)

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
 会長 長／川瀬康裕
 会長エレクト／小出子恵出(クラブ奉仕A)
 副会長 長／松永一義(クラブ奉仕B)
 幹事 関川博
 S A A 明田川賢一
 会計 浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:58名中40名
- 先々週出席率:85.45%

【ヴィジター】

・中条RCより 威本正之さん

【先週のメイクアップ】

[5.14] 地区研修・協議会(新潟)へ
 ・小出子恵出さん、吉井直樹さん、
 ・松永一義さん、渡辺良一さん、
 ・若槻八十彦さん、衛藤泰男さん、
 ・熊倉昌平さん、萩根澤隆雄さん、
 ・川瀬康裕さん、関川博さん
 (10名)

【5.15】三條南RCへ

・熊倉昌平さん、丸山行彦さん、
 ・木村文夫さん、山田富義さん、
 ・加藤紋次郎さん、相場弘介さん
 (6名)



2016～2017年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

川瀬康裕 会長



皆さん今日は。中林会員お帰りなさい。
 私の会長としての例会はあと6回となりました。今月14日の日曜日、新潟のホテルオークラで新保GE主催の地区研修・協議会が開催されました。基調講演を頂いたRI研修リーダー足立様のお話が印象深かったのでご紹介致します。

ロータリーは親睦互惠団体ではじまり、奉仕活動は「シカゴの公衆トイレの寄付」などの地域奉仕程度でしたが、1923年ロータリーは「決議23-34」という「奉仕の理念」を確立しました。職業においても人道においても奉仕の精神を第一におく哲学として、世界の経営者の共感をえて、日本においてもロータリー精神として大切にされているものです。これは人生哲学の学びであり、向上心を満足させるものです。

一方、1978年に国際ロータリー75周年の記念事業として health, hunger, humanityの3Hプログラムが提唱され、その一環としてポリオプラスを推進する計画が発足しました。この3Hの推進と「決議23-34」は不幸なことに確執を繰り返しています。1984年と2008年に「決議23-34」は世界でポリオプラスを推進する人の足かせと感じられ定款から削除されそうになりました。「決議23-34」は奉仕の理念と同時にクラブの自主性を強調し、奉仕は個人から始まることを提唱しています、RIがクラブに対して奉仕のやり方を強制することも

否定しています。この考えはRIが世界で良いことをしよう、世界でポリオを無くそうという運動の足を引っ張ることになると考える人もいるからです。

現代の発展途上国、インドやアフリカでなぜロータリアンが増えているのかはわかりませんが、少なくともかつての日本のロータリーのような馬車で送迎される貴族のような人たちが推進力となっているというより、簡単に飲める清潔な水もない、トイレもない、飢えている人たちにできることをしてあげたいという思いと力をもつ人たちがいるのではないかと思います。まさに奉仕の心です。発展途上国の年齢構成は日本とはまったく違います。若い人が多いはずですが。若い人たちは効率を求めます。仕事も忙しいです。例会を減らし、直接出向かなくても良い会合や、オンラインを便利と思うかもしれません。

会員の職業分類を持つこと、ポリオ撲滅活動を30年以上やり続けたこと、世界中にネットワークを持ち、世界規模の奉仕活動をやっていること、これらはいずれもロータリーの特徴です。ロータリーは会員だけのものか、地域社会のためのものか、世界で奉仕活動する人の為のものか、いずれもロータリーです。2016年の規定審議会で提唱されたRIの「柔軟性」とは、先進国の奉仕の理念を重んじる紳士と、世界の現状に奉仕しようとする若い活動家や実業家の、両方を生かす為の妥協の産物というか包含する目標のように思われます。各クラブはどの道を行くか選択の自由を与えられました。

幹事報告

関川 博 幹事

◎田中ガバナー事務所より

「ガバナー月信 5月号発行のお知らせ」

◎三条南RCより

「2017-18年度 第4分区会長・幹事会のご案内」

日 時 6月13日(火) 18:30～

会 場 松木屋

◎三条RACより

「カクテル講習会・納会のご案内」

日 時 6月23日(金)

カクテル講習会 20:00～21:00

納会: 懇親会 21:20～22:50

会 場 オールドBAR モンツァ

会 費 カクテル講習会 無料

納会・懇親会(ロータリアン) 5,000円

カクテル講習会は三条RACの会員増強イベントとして開催されます。

ビジターの懇親会費は無料ですのでお誘い合わせでご参加ください。

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

60周年式典と慰労会無事終わりました。感謝いたします。

加藤紋次郎さん

この度は妻「一代」の葬儀お別れ会に際しましては多大な御厚志並びに御厚情を頂きまして誠に有難う御座いました。

渋谷健一さん

5月10日は石垣島への旅行参加が決まっていたので10日の慰労会を欠席しました。その罰が当たり、帰り便が欠航となり、帰り便が変更となりANAよりお詫び料を頂きましたのでその分BOXに協力します。

中林順一さん

ようやく帰って来ました。皆さんに会えてうれしいです。

小出子恵出さん

地区研修・協議会に参加して頂いた方、御苦勞様でした。報告の方もよろしくお願い致します。つたない報告をします。よろしくです。

関川 博さん

地区協おつかれさまでした。

中林さんお帰りなさい。待ってました。

番場さん、入会歓迎致します。

威本さん、ごゆっくりどうぞ。

荻根澤隆雄さん

中林会員お帰りなさい。待ちわびておりました。

地区研修・協議会に参加。深く、浅く勉強して来ました。

船越良則さん

先週の60周年慰労会お疲れ様でした。つたない司会でしたが皆様のおかげで無事つとめることができました。ありがとうございました。

吉井直樹さん

三条まつりでは、皆様には大変お世話になりました。本年は行列を途中で中止としましたが、舞込みは行うことができ、なんとか形になりました。ありがとうございました。

衛藤泰男さん

三条まつり大名行列を見学させて頂きました。

関係者の皆様、お疲れさまでした。

小林吾郎さん

大倉山、菅名岳縦走を長男と2人で登って来ました。すばらしい天気と景色でした。

丸山行彦さん

お祭のため地区協欠席しました。申し訳ありません。

樺山 仁さん

小出会員いよいよ多忙な時期に入ります。よろしくガンバリましょう。

明田川賢一さん

新会員の皆様、地区協議会お疲れ様でした。

中村和彦さん

地区研修、御苦労様です。小出さん、卓話楽しみにしています。

松永一義さん

三条まつり、吉井さん、御苦労様でした。

渡辺良一さん

やっとやっと60周年誌ができそうです。

小越憲泰さん

暖かくなってきました。

金子俊郎さん、伊藤寛一さん、中村信一さん、

柳取崇之さん、若槻八十彦さん、宮本信秋さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

5月17日分 ￥ 52,000

今年度累計 ￥ 1,997,000

「地区研修・協議会報告」

小出子恵出 会長エレクト



5月14日(日)ホテルオークラ新潟で行われた2017年度 地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

午前中は全体会議と基調講演がありました。621名の参加登録で全体会議は会場に収まらず、

扉を取り除いてロビーと一体化して行われました。

全体会議では、新保清久ガバナーエレクトより1月にサンディエゴで開催された国際協議会の報告が「PETS」のときと全く同じようにプロジェクターを使ってなされました。

次年度RI会長イアンH.S.ライズリーさんは、RIテーマをRotary: Making A Differenceとされ、「ロータリー:変化をもたらす」と訳されています。

ロータリアンは、柔軟性、多様性、継続性を重視しようと言っています。例えば

- クラブの例会の回数、活動内容、発展の方法を柔軟に解釈する。
- 女性や確立した職業を持たない人、多様な会員を迎え入れよう。
- 長期計画、持続可能な奉仕、全てにおいてリーダーシップの継続に重きを置く。

このように緩和される事項と、単年度事業から継続事業へと変化しています。

続いて、新保清久ガバナー年度の地区運営方針が発表されました。

RIテーマの下、「クラブと地区の変革をめざそう」を地区テーマとされました。

これは前回「PETS」の報告をさせて頂いた時と全く同じ内容ですので省略いたします。今日の資料に入っています。

その後、次年度予算案が発表され承認されました。内容は、山本ガバナー年度の予算と決算、田中ガバナー年度の予算と次年度の予算を対比する表が予め配布されていましたが、私では理解できないような表ですので専門家に委ねたいと思いました。

午前の部の締めは、1時間の基調講演でした。演題は「ロータリーのグローバル化と未来」で、2017年度国際ロータリー研修リーダーの足立功一さんで釧路北RC所属の方でした。

ロータリーは今後どのようになってゆくのか。

< 新会員紹介 >



氏名	番場 太吉
会社名	(株)日本旅行 燕三条支店
役職名	支店長
住所	三条市須頃2-121
家族構成	妻、一男一女
趣味	旅行

2017年1月現在の全世界会員数1,224,300名35,403クラブです。

会員数の多い方からアメリカ324千人 インド142千人 日本89千 韓国63千人 ドイツ54千人 ブラジル53千人です。

会員数は、アメリカ・日本で減少し、インドは急激に増加しロータリー大国になっています。

RI理事の選出は34あるゾーンから1名ずつ、会員36千人に対して1名になります。

日本の会員減少がこのまま続けば、RI理事会の定期的なゾーン見直しの際に、更に日本のゾーン数が減少し、選出されるRI理事も減少することになります。RI理事にはゾーンを代表する役割もありますから、日本のRI理事が減少すれば、日本のロータリアンの声が国際ロータリーに届かないということにもなりかねません

ロータリー後発国の会員数が増加することにより、会員減少が続いている日本の発言力が低下してゆくことを憂慮していました。

東京クラブの発足からロータリーの経緯、規定審議会の節目毎の話を淡々と語られました。

基調講演はいい話がいっぱいあったようですが、睡魔に負けて私の代わりにICレコーダーが聞いてくれました。いい話は吉井幹事に譲りたいと思います。

午後からは分科会に分かれての勉強会でした。内容は新保ガバナー年度の活動方針を徹底させるための説明会でした。

はじめに今年1月16日の2017年国際協議会：イアンH.S. ライズリーRI 会長エレクトによるテーマ講演の和訳5430文字の全文を新保ガバナーが読み上げました。

今年度のガバナーの役目は

- クラブのサポートと強化
 - 人道的奉仕の重点化と増加
 - ロータリー公共イメージと認知度の向上
- これはRI理事会が定めた戦略的優先事項です。

今日配布いたしました資料にありますので、目を通していただきたいと思います。

これらの研修を参考にして2017年度 三条RCクラブテーマは

「普通にロータリアンらしく」としました。

情報技術の活用は必要です。新しいことに挑戦することも重要です。会員減少が続いている現在、ロータリークラブの原点、ロータリーの心に触れてみ

ることも変革であると思いました。“ロータリアンの行動規範”を忘れず普通にロータリアンらしく在りたいものです。

1. 例会の充実

雑談・情報交換、楽しめる食事、楽しめる卓話、欠席届

早めに入場して雑談をしていただきたい

2. 参加・参画する奉仕活動

社会的弱者の目線で活動、汗をかく活動

3. 楽しい親睦活動

酒を酌み交わし、ロータリー通に

4. 川瀬ガバナー年度に向けて

“チーム三条ロータリー”で取組む
を掲げました。ご協力をお願い致します。



2017～18年度 国際奉仕委員長 若槻八十彦 会員

5月14日(日)、ホテルオークラ新潟において開催された「地区研修・協議会」の報告を申し上げます。

午前中、全体会議に続いて基調講演がありました。演題は「ロータリーのグローバル化と未来」です。講師は2017-2018年度RI研修リーダーの釧路北RC、足立功一様でした。RI研修リーダーとはどういう役柄かといいますと、今年の1月にサンディエゴで行われた「国際協議会」でのガバナーエレクトの教師役だそうです。

ですので、そのお話はロータリーの全般多岐にわたり、詳しく述べておられましたが、私のような経験が浅く理解力に乏しい者には、いささか難儀な講演ではありました。

昼食の後、午後からは、いよいよ勉強の時間がやってきました。セッション会場は15階の展望レストランでした。はじめに、セッション第1部として「国際奉仕委員会」の長谷川厚史委員長(新潟南RC)の挨拶の後、姉妹・友好クラブ交流事業の事例紹介がありました。特に、海外のRCとの姉妹・友好クラブについては、2560地区56クラブ中17クラブで、3分の1に満たないことが指摘され、交流事業の更なる推進を求められました。

2017～18年度

ロータリー財団副委員長

熊倉昌平 会員



- ・地区役員から財団の事業活動について説明（例年の通り）
- ・奨学生の体験発表 坪内麗音さん（イタリア・ミラノ市音楽院／ソプラノ）

- ・グローバル補助金事業の活用について事例発表
- ・財団寄付、ポリオプラスの寄付目標額 1人150ドル（年次寄付）
- ・ロータリーカード、コーポレートカードの利用のお願い

○田中年度の財団寄付額順位、三条クラブ第1位
（渋谷会員、川瀬会員）

次に、グローバル補助金を使った国際奉仕事業について、高橋優子地区担当副幹事（新潟万代RC）からお話がありました。地区ロータリー財団への寄付金は、国際財団活動資金（WF）へ50％と、地区財団活動資金（DDF）へ50％とに配分されます。そして、地区財団活動資金（DDF）は、①地区補助金と②グローバル補助金、③寄贈の3つに配分されます。その中で今回は特に、②グローバル補助金を使った奉仕活動の推進についての説明がありました。

グローバル補助金を使った奉仕活動には3つの要件があります。①ロータリーの6つの重点分野に該当すること。すなわちA,平和と紛争予防／紛争解決 B,疾病予防と治療 C,水と衛生 D,母子の健康 E,基本的教育と識字率向上 F,経済と地域社会の発展 これら6つのどれかに該当すること。②補助金プロジェクト実施国と援助国が2か国以上にまたがっていること。③最低3万ドル以上のプロジェクトであること。以上の3つの要件がかなうと、グローバル補助金を使った奉仕活動が可能となります。

この2560地区では毎年、グローバル補助金を使った奉仕活動が実践されています。当三条クラブにおいても、2015-2016年度（五十嵐会長年度）に、タイ王国へ「慢性腎臓病を防ぐ教育プログラムと患者の救命治療の増進を目的に保健インフラ整備」を、3か国3地区21クラブ共同で実施をさせていただきました。

1つのクラブが単独で、このグローバル補助金を使った国際奉仕活動を行なうというのはなかなか難しいことですが、このように地区のクラブが共同で行う事業に参加すればたとえ少額でも、意義のある国際奉仕活動が意外と簡単に実践出来るという、良い前例になったのではないかと考えています。

なお、現在、地区国際奉仕委員会ではいくつかの2017-2018年度グローバル補助金事業が検討されているようですので、当三条クラブとしても理事会にはかり、グローバル補助金を使った国際奉仕活動に再度参加してみたいかがでしょうか。検討をお願いいたします。

なお、セッション第2部の青少年交換委員会につきましては、2018-2019年度の一年交換学生募集の申込み期日が2017年10月31日。それと、2018年度の夏期交換学生募集の申込み期日が2017年12月25日となっています。これらについては、ロータリアンの子弟でも応募出来ますので、ふるって応募くださいとのことでした。

以上、国際奉仕委員会および青少年交換委員会での研修報告を終わります。

2017～18年度

クラブ奉仕（A）委員長 松永一義 会員

2017-18年度地区研修・協議会に参加して来ました。

基調講演については皆さんお話になるとと思います。足立功一研修リーダーの話は非常に為になりました。相当数の方は睡魔に負けたようでした。私と隣の萩根澤さん、三条RCの会員は最後まで頑張って勉強した。つもりですが、数字が多く、余り頭に残っておりません。ロータリーの歴史についても難しい内容でした。

午後からの勉強会は、クラブ戦略計画推進という今まで聞きなれない内容でした。クラブリーダーシップ（CLP）から戦略計画へとマイロータリーの話、アカウント登録をしましょう、目標は1600名と、私にとっては大変難しい内容でした。大澤力（新潟西RC）さんの解説で、中身が多すぎて私では説明しきれません。それ程、内容の濃い会議でした。

会員増強には、新潟南RCの角南さんの講義でした。70数名から52名まで減ったクラブが危機感を持って努力し、今は102名の会員となった秘話というか、実例をもった増強会議でした。内容は別の機会に話しをしたいと思います。

大変疲れた会議でした。



次週例会 5月31日 「会員卓話」 梨本次郎 会員
於 越前屋ホテル

次々週例会 6月7日 「会員卓話」 杉山幸英 会員
於 越前屋ホテル

